

★にゅーといしょん・あらかると★

* 経腸栄養剤について *

・経腸栄養剤の種類と特徴



経腸栄養剤には窒素源の分解の程度で大きく分けて3つあります。

	成分栄養剤	消化態栄養剤	半消化態栄養剤
窒素源	アミノ酸	ジペプチド トリペプチド等	たんぱく質
脂肪含有量	少量	少ない	多い
消化	不要	一部要	一部要
残渣	なし	少ない	中等量

当院で使用中の経腸栄養剤(2020年6月現在)

・成分栄養剤

- **エレンタール**: 消化が不要であり、消化管の機能が弱っていても使用できます。
ただし、脂肪分の割合が極めて少ないため、必須脂肪酸欠乏を防ぐため
脂肪乳剤の併用が必要となります。



・消化態栄養剤

- **ペプタメンスタンダード**: 消化吸収がよく、長期絶食後の栄養剤や下痢症状のある方に使用しています。
(200ml・267ml) 1mlあたり1.5kcalと濃縮されており、少量で高カロリーが摂取できます。



・半消化態栄養剤

- **メイバランス 1.0** : 消化吸収に特別な異常がない場合に使用します。
(200ml・300ml・400ml) (通常半消化態栄養剤を使用するが多い)
ラコール・エンシュアリキッド等 当院では主にメイバランス 1.0(1mlあたり1kcal)を使用しています。



*ほかにも様々な病態に配慮した栄養剤があります。

- ・糖尿病 : インスロー(半消化態) 糖質の吸収が穏やか
- ・腎機能低下: リーナレン LP(半消化態) 低たんぱく質、低P、低K、低Na

※リーナレン LPのみだとタンパク質量が少なくなりすぎるので
他の栄養剤と組み合わせて使用することをお勧めします。

